



中太小コミュニティスクールだより

子育て三輪車

学びの主役は子供 教育の主役は保護者 しっかり支える学校・地域

中太閤山小学校学校運営協議会

第3号 2025年5月発行

望ましい子育て協働体をめざして

射水市立の全小中学校で昨年度から始まった「コミュニティスクール（以後 コミ・スク）」。
中太閤山小学校では運営協議会委員が決まり、ボランティア登録者も集まりつつあります。

今年度も『子育て三輪車』においてコミ・スクの活動の状況や教育の話題などをお知らせしていこうと考えています。

皆様からのご意見もお待ちしております。 ◎連絡先 cd13@imizu.ed.jp（中太小コミュニティスクール）

ボランティアを募集しています

PTA総会（4月20日）に先立って、保護者の皆様にボランティア登録のお願いをしました。3名の方が新たに登録をしてくださり、4月末の時点で、登録者41名、活動回数6回、参加者は延べ15名となっています。（昨年度は登録者38名、活動回数32回、参加者は延べ90名）

今年度、すでに畑づくりや機械修理などでボランティアのご協力をいただきました。

5月を迎え、授業や活動がさらに活発に展開されていきます。

子供は地域の宝、未来への希望です。子供たち一人ひとりの学力の向上、安全の確保、そして授業の安定など、『未来をつくる』思いでご協力いただくと幸いです。

ボランティア登録は年中可能ですので、まずは電話やメールでご連絡ください。

第1回学校運営協議会開催

4月3日（木）に第1回学校運営協議会を開催しました。（委員の方々は右枠参照）

新年度が始まってすぐに開催した理由はコミ・スクが学校運営計画（基本方針）について学校運営協議会の「承認」を得て教育活動を行う、という建て付けになっているからです。

今年度、中太小では下枠の学校教育目標等を設定して教育活動が展開されていきます。

学校運営協議会委員

会長 江尻泰将 副会長 塚本一夫

委員 仙福晴樹 山口千春 山沼博

小川一代 柴田淳子 山口郁子 大門秀司

今田悟 水上澄雄 井林緑 田嶋隆

高安和代子 鮎田いづみ

コーディネーター 鮎田いづみ 澤井達司

学校教育目標 : 自律心と実践力を備えた、心豊かでたくましい子供の育成

本年度の重点目標 : チャレンジの心と思いやりの育成 一みかけ、心一

目指す子供像 : 思いやりのある子供

主体的に考え、自分の言葉で思いを表現できる子供

自分で健康な生活を整える子供

目標を掲げるだけでなく、指導方法を工夫したり、合言葉を設けたりして、子供たちが理解しやすく、日常的に活動できるような配慮がなされています。

例えば、重点目標にある『みかけ、心』の具現策の一つとして、清掃活動（指導）に力を入れるということです。そこで、子供たちが掃除の意味や方法をきちんと理解し、先生方から同じ指導が受けられるように、示範清掃の動画を撮影し、子供たちに視聴させた上で清掃を行っているということです。

また、あいさつを習慣化するために『おこめ』を合言葉にしているそうです。『おこめ』は『お：

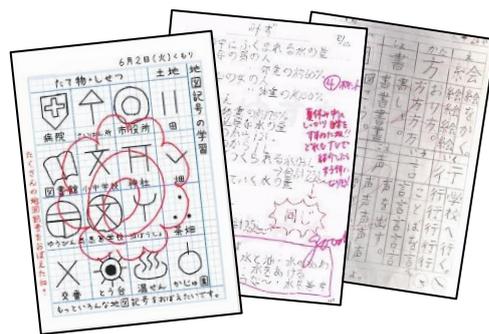
大きな声で、こ：心を込めて、め：目をつないで』の意味です。分かり易くていいですね。

大人も『おこめ』を大事にしてあいさつを交わし子供たちの手本になれるといいですね。

自学ノートの活用を考える

学校運営協議会で『自学ノート』が話題になりました。

中太小では、子供たちの『主体的に学ぶ力』を高めるため『自学ノート』に力を入れているようですが、昨年度の保護者アンケートでは、有効だとする意見の一方で、我が子にとっては意味がない、という意見もあったようです。



『自学ノート』は、内容や量を子供自身が決めることを基本としているのですが、特に目的がなくてもノートに何かを書いて出せば良いから、バッジをもらいたいから、というような意識で取り組んでいる子供もいるそうです。協議会委員からは次のような意見がありました。

- ・ 小学校は『学び』の種をまく時期。学ぶことに楽しさを味わわせてやりたい。
- ・ 毎日継続することは良いことだと思う。まずは肯定的に捉え、量を追うこともあってよい。
- ・ 子供の発達状況をよく観察し、その子に適した基準やルールを定めるのがよい。
- ・ 親や先生からの褒め言葉は宝物。適時、コメントを添えるのも効果的。
- ・ 望ましい『自学ノート』を親、子供たち、先生と一緒に考え、工夫できるとよい。他学校では、集団で学ぶことを基本にしながら、学習の成果は一人ひとりの子供に蓄積されていくこととなります。同じ方法や機会を与えられても、個々の能力や発達状況によって取り組み方や内容、量等が異なる場合もあります。

『自学ノート』は子供それぞれの興味や関心を自由に生かすことのできる取り組みです。いわば、子供たちが持つ『学ぶ』権利を最大限生かせる仕掛けと見ることもできます。子供同士はもちろん、保護者、先生がみんなで寄って集って「これ、いいんじゃない！」と思えるものを作り上げられたら、「主体的に楽しく学ぶ」子供たちが育つかもかもしれませんね。

へえ、そうなんだ！

このコーナーでは、子供たちを取り巻く社会の動きや研究、考え方などを多様な視点から取り上げ、教育について「そんな考え方や見方もあるんだね」と話題にさせていただけるよう紹介していこうと思います。

QRコードを載せておきますので、検索なさってみてください。皆様も、子育てや教育について参考になる書籍や記事、情報をご存知でしたら教えてください。

○ 紙vs デジタル学習：ディープラーニング（深い学び）は紙が良い

デジタルは覚えにくい、集中しにくい、眼に負担

富山大学学術研究部医学系准教授 山田正明さんの研究（2024年5月29日）



○ フィンランドの学校で始まった「脱デジタル化」

教育大国でノートPC無償配布も、学習成果は低下

ロイター通信の記事より（2025年4月11日 動画あり）



○ 小学生時に「読解力」の決定的な差が生じる理由

その基礎・基本は学校の授業では教わらない

東洋経済新報社 印南敦史さんの記事より（2019年10月29日）

